

あとがき

研究紀要のあとがきに寄せて、今年度の本校の教育を振り返ってみると、未だこの一年を咀嚼できていない自分に気づきます。4月、新学期がスタートし、27 名の新入生を迎えたとなんの新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業。6月1日からは学校も再開されましたが、その後の学校生活は一変しました。マスク、検温、消毒はもちろんのこと、アクリル板を挟んだ人との会話、学校行事も感染予防対策をしながらの制限付きの実施、もしくは中止。当初は、私たちが積み上げてきた学校生活や日常は、なんて脆弱で、脆いものだったんだろうと、驚愕したことを思い出します。今、令和3年3月の時点では、医療従事者へのワクチン接種も始まり、やや先の見えない不安感は払しょくされつつあると感じてはいますが、大人である私たちがこれだけ慌てふためいたわけですから、子供たちの不安たるや、計り知れないものであったのではないかと想像しています。私たち学校関係者が何よりも優先しなければならないことは、子供たちが不安を思うことなく学びに集中できる環境を用意すること。そのためにはまず、学びを止めないこと、学校生活が日常としてあり続けることだと強く感じています。

さて、不安の中でスタートした今年度も、学校再開からは感染症対策を講じながらではありますが、学びを止めることなく、学校教育を継続することができました。校内研究につきましても、こうした状況の影響を多分に受けましたが、一部内容や方法を変え、本校の教育、指導の向上を目指し、研鑽を積むことができたと感じています。第8次研究としては3年目、最終年度となる「キャリア発達を促すカリキュラムマネジメント」～新しい職業学科として社会に開かれた教育課程の構築を目指して～を研究主題に、課題研究、プロジェクト研究、調査研究、寄宿舎研究に取り組んできました。「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりに取り組んだ課題研究。「教科横断的な学習の視点を持ち、教育課程を整える」ことを中核とした指導計画の作成、本校教育の大きな特色の一つでもある「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」の今後の在り方について取り組んだプロジェクト研究。「キャリア教育～今養版キャリアプランニング・マトリックス」の更なる活用、充実を目指した調査研究。寄宿舎研究では、「自分らしい生き方を選択し、実現する」ことを主眼とした指導の在り方について取り組みました。

また、本校研究の大きな特色の一つでもありました「1人1研究授業」も、新型コロナウイルス感染症の感染対策を受け今年度は実施することはできませんでしたが、「1人1実践レポート」として、教職員個々の実践について交流することもできました。

前述しましたように、今研究主題をテーマとした第8次研究は今年度まとめの年となります。全教職員により、長期にわたり取り組んできた本校教育実践の足跡、成果のまとめをぜひ御一読いただき、忌憚のない御意見、御指導をいただけたら幸いです。

次年度からは、変化の激しい、また先の見えないこれからの社会を生きていく子供たちの教育、指導の在り方について、より日々の実践に生きる、また直結した『校内研修』として取り組む予定であります。これからを生きる子供たちが、未来に希望をもち、不安や恐れを抱くことなく、学び、そして日々成長できるよう、これからも研鑽を積んでいく所存です。

来年の今頃は、新型コロナウイルス感染症ワクチンの効果も表れ、治療薬の開発も進み、少しずつ本来の日常と、落ち着きを取り戻していることを強く祈りつつ、あとがきといたします。

令和3年3月

北海道今金高等養護学校 教頭 野 本 雅 明

共 同 研 究 者

学校長 進藤 仁
教 頭 野本 雅明

<教務部>

1 学年 田中 博昭 、 内田 義文 、 小林 和幸 、 和田 繁夫 、 山田みゆき
矢倉 一 、 吉田 健一 、 村瀬はるな 、 海田 健 、 石井 綾香
成島 壱聖 、 藤本 絵美 飯嶋 翔世 、 高野木乃美 、 岡島 有子

2 学年 大槻 啓二 、 祐川建一郎 、 石川 誠 、 成田 直浩 、 石田 浩子
工藤 大地 、 佐野 涼司 、 中市 浩史 、 高瀬 友里 、 村田 悟美
穴田 祐美 、 須田友香理 、 橘 晴美 、 松本沙耶佳

3 学年 中島 朋之 、 津村 理子 、 西脇 功二 、 金子 亘喜 、 野呂 篤志
亀田 倫代 、 山本 拓郎 、 高山 愛望 、 五十嵐悦史 、 福井也寸志
青山 未帆 、 出村 朱美 、 小笠原友理

<舎務部>

生内 希 、 島 敦子 、 日野岡佑亮 、 森影 迅 、 武部ひとみ
工藤 哲郎 、 町中 謙太 、 小林 千春 、 折原 健 、 関口 浩介
猪瀬 雅法 、 工藤 晴奈 、 佐藤 友梨 、 釣谷 晋一 、 澤谷 由江
吉田 優花

令和2年度 研究紀要

創

TSUKURU 第23号

発行者 北海道今金高等養護学校長

進藤 仁

発行日 令和3年3月1日

〒049-4304 北海道瀬棚郡今金町字今金454番地1

TEL (0137) 82-3121

FAX (0137) 82-3092